・農村 RMO※および集落支援員の現状について
・若者の地元定着と市の人材確保について



新風新政会
宇佐美（うさみ）　誠（まこと）

詳しい内容はこちら

1項目目は、農村 RMO および集落支援員の現状についてです。人口減少や高齢化が進む中山間地域では、集落機能の維持と地域コミュニティの存続が大きな課題となっています。

本市では、令和7年3月に県内初となる「安中秋間地域 RMO 推進協議会」が設立され、農業を核とした地域資源の活用や朝市の開催など、新たに取り組まれています。また、集落支援員を配置し、地域課題を住民同士で話し合うワークショップも進められています。

そこで、先行する秋間地区での取り組みの成果と課題を踏まえ、他地区への展開の可能性や、今後の集落支援員の配置について質問しました。

2項目目は、若者の地元定着促進と本市の人材確保戦略についてです。「あんなかまちづくりビジョン2024」では、8年後の目指す姿として、若い世代のU・Iターン者の増加を掲げています。人口減少が進む中、進学などで市外へ出た若者に、本市を就職や暮らしの場として再び選んでもらう取り組みが重要です。そこで、市外へ出た若者への継続的な情報発信のあり方や、市役所の採用改革とUターン施策を連動させ、若者を呼び戻すための取り組みについて質問しました。

※農村RMO(Region Management Organization)…複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織のこと。

・防災対策の治水対策や避難所の熱中症対策、冠水対策について
・市内の盛り土について

線状降水帯で大雨特別警報が発令され、経験したことのない豪雨災害が全国各地で発生しています。本市のこれまでの治水対策や温暖化の異常気象に対応するため、過去に中止となった増田川ダム※の必要性について聞きました。また、指定避難所の熱中症対策について、現状とこれまでの対応、今後の対策として小中学校体育館へのエアコン設置の整備完了までのスケジュール等について聞きました。

他市町村では豪雨で道路が冠水し車が動けなくなり、亡くなる方も多く出ましたので、本市のアンダーパスや冠水時の対応について聞きました。

安中中央体育館西側盛り土や遠丸団地の盛り土、七曲り橋南側の盛り土については、経緯や何処の土砂か、今後の対策を聞きました。

また、それぞれの盛り土は、線状降水帯のような豪雨の時は、土砂が流れ出し被害が発生することも想定されるため、盛り土の搬出予定や豪雨時の安全巡回について聞きました。



遠丸団地における県の土砂搬入場所



清風クラブ
小川（おがわ）　剛（つよし）

詳しい内容はこちら

※増田川ダム…洪水対策の治水機能強化と安定した利水に向け計画したが、公共事業見直し機運等を背景に 2015 年 2 月に中止が決定された。